

別紙 2 2

【薬効分類】 2 5 3 子宮収縮剤

【医薬品名】 メチルエルゴメトリンマレイン酸塩

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行			改訂案		
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、アタザナビル硫酸塩、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、ダルナビル エタノール付加物含有製剤）、エファビレンツ、アゾール系抗真菌薬（イトラコナゾール、ボリコナゾール、ポサコナゾール）、コビシスタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、レテルモビル、エンシトレルビル フマル酸、レナカパビルナトリウム、5-HT _{1B/1D} 受容体作動薬（スマトリプタン、ゾルミトリプタン、エレトリプタン臭化水素酸塩、リザトリプタン安息香酸塩、ナラトリプタン塩酸塩）、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリンを投与中の患者			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、アタザナビル硫酸塩、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、ダルナビル エタノール付加物含有製剤）、エファビレンツ、アゾール系抗真菌薬（イトラコナゾール、ボリコナゾール、ポサコナゾール）、コビシスタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、レテルモビル、エンシトレルビル フマル酸、レナカパビルナトリウム、5-HT _{1B/1D} 受容体作動薬（スマトリプタン、ゾルミトリプタン、エレトリプタン臭化水素酸塩、リザトリプタン安息香酸塩、ナラトリプタン塩酸塩）、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、 <u>セリチニブ</u> を投与中の患者		
10. 相互作用 10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10. 相互作用 10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
HIVプロテアーゼ阻害剤	本剤の血中濃度が上	これらの薬剤が	HIVプロテアーゼ阻害剤	本剤の血中濃度が上	これらの薬剤が

<p>リトナビル含有製剤 アタザナビル硫酸塩 ホスアンプレナビルカルシウム水和物 ダルナビル エタノール付加物含有製剤 エファビレンツ アゾール系抗真菌薬 イトラコナゾール ボリコナゾール ポサコナゾール コビシスタット含有製剤 ニルマトレルビル・リトナビル レテルモビル エンシトレルビル フマル酸 レナカパビルナトリウム</p>	<p>昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起すおそれがある。</p>	<p>CYP3A4を阻害することにより、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。</p>	<p>リトナビル含有製剤 アタザナビル硫酸塩 ホスアンプレナビルカルシウム水和物 ダルナビル エタノール付加物含有製剤 エファビレンツ アゾール系抗真菌薬 イトラコナゾール ボリコナゾール ポサコナゾール コビシスタット含有製剤 ニルマトレルビル・リトナビル レテルモビル エンシトレルビル フマル酸 レナカパビルナトリウム <u>セリチニブ</u></p>	<p>昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起すおそれがある。</p>	<p>CYP3A4を阻害することにより、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。</p>
---	----------------------------------	--	---	----------------------------------	--